

CHIKUHO

筑豊ブロック 研修会

精神分野

ポジティブ作業に根ざした実践 (POBP)

講師：野口 卓也 先生
(慈圭病院)



・主な活動

精神科領域の作業療法を専門としており、中山間地域の精神科病院や精神科クリニックのデイケアに従事した経験を経て、現在は慈圭病院に勤務しています。科学的知見に基づき人々の健康や幸福を促進する可能性を有した作業（ポジティブ作業）に焦点を当てた評価尺度「Assessment of Positive Occupation 15 (APO-15)」の開発・検証と、その作業を臨床支援に応用した「Positive Occupation-Based Practice (POBP)」の介入研究を行っています。これらの研究は、精神科領域のみならず、近年では身体障害や老年期障害の領域にも応用研究を展開しています。APO-15やPOBPに関する研究成果は、国内外の学術誌に多数発表されています。

略歴

平成12年5月
平成22年3月
平成26年4月
平成28年3月

作業療法士免許取得
吉備国際大学大学院保健科学研究科保健科学専攻 修士課程 卒業
公益財団法人慈圭会 慈圭病院にて勤務（現在に至る）
吉備国際大学大学院 保健科学研究科保健科学専攻 博士課程卒業（保健学）

開催日時 : 11月20日(木) 19時～21時

開催形式 : オンライン (ZOOM) 形式

対象

- ・臨床に新しい視点を取り入れたい方
- ・対象者の強みを活かした支援に関心のある方
- ・「POBPとは何か」を知りたい方など、
関心のある方はぜひご参加ください！

申し込みはこちらから ↓
<https://251120chikuho.peatix.com>

締切 11月13日(木)19時まで



令和7年度 第3回筑豊ブロック研修会のご案内

研修概要

臨床の場で“この方に適した評価や介入は何だろう”と迷う場面は少なくありません。今回の研修では、そのような場面において新たな視点やヒントとなる「ポジティブ作業を根ざした実践（POBP）」というテーマでご講演いただきます。POBPとは、人間の健康と幸福を促進する可能性を有したポジティブ作業の学習機会を提供し、それを実生活で習慣化できるように支援する実践方法です。精神科領域をはじめ、地域高齢者に対して肯定的な影響が認められています。臨床場面だけでなく、事例報告や研究にも活用することが可能です。日々の臨床に新しい視点を取り入れたい、対象者の強みをさらに引き出したい、事例検討に活かしたい
———そんな思いをお持ちの方のご参加を心よりお待ちしております。

注意事項

- ・ 本研修会へ参加する際は、Peatixの参加チケットをお求めください。
※コンビニ/ATMでのお支払い期限は、〆切の1日前までですのでご注意ください
※支払方法によっては自己負担での手数料がかかります
※支払後のキャンセルは自己負担でのキャンセル手数料が発生します
- ・ Peatixの利用には、スマートフォンによるアプリ、又はPCが必要です。
事前にアプリのインストール、アカウント登録の設定をお願いします
申し込み後にログアウトしないようご注意ください。
- ・ スマホなどの通知を「許可」の状態にしてください。問い合わせに関してもPeatixから直接行うことができます。
- ・ 研修会30分前から入室可能ですので、余裕をもって参加をお願いします。
- ・ ご不明な点等ございましたら、下記の宛先にお問い合わせください。

問い合わせ先
筑豊ブロック 事務局
yoou.kouhei@gmail.com